

合言葉

おもいきり探究しよう

たんきゅう

令和7年度 丸子北小学校
グランドデザイン

学校ホームページ



児童のねがい

全校が自分らしく楽しむ児童会
～笑顔・全力・SDGs・あいさつ～

個性に満ちた 学校の創造

ここがポイント

- ◎自分だけでなく、周りの人がいつも笑顔でいる学校づくりを目指します
【Well-Being (ウェルビーイング) の実現】
- ◎児童会活動や「北小っ子タイム」などの交流活動を充実し、互いを認め合う楽しい学校づくりを進めます。

子どもを主体者とした 授業の創造

ここがポイント

- ◎フリースタイルプロジェクトや生活科、総合的な学習の時間では「好き」や「楽しい」「なぜ」を探究します。教科学習にも探究的な学びを取り入れていきます。
- ◎学び合いを通して、協働的な学びを深めます。

「みつめよう」 心みがき清掃の充実

ここがポイント

- ◎自分で目標を決めて、他者に頼らず自立する気持ちを育みます。
- ◎自分自身と向き合い、自分が成長する時間とし、自分をみつめます。
- ◎「がまん玉」「しんせつ玉」「みつめ玉」を磨きます。



昭和48年創立 ～本校草創から教育理念～

『夢と驚き』

子どもが大きな夢を抱き、新しく知ることの驚きに
気づき、勉学の楽しさや喜びを感じる学校

『汎汎楊舟載沈載浮』

(はんはんたるようしゅう 沈む物も載せ 浮かぶ物も載せ)
子ども一人ひとりの個性を尊重し、すべての子ども
を大らかに抱きとり、共に進んでいく学校

学校教育目標

違いを認め、お互いを大切にする子
自分の考えを持ち、進んで学ぶ子
最後までやり抜く子

令和7年度はこんな取り組みをします

- ① 2年目となる午前5時間授業(1単位時間40分)を実施します。
フリースタイルプロジェクト(FSP)は60分に拡大します。
- ② 学び合いの学習について研修を深め、授業改善に取り組みます。
- ③ 生活科や総合を中心に地域資源を活用して探究的な学習を進めます。
- ④ 地域連携を深め、児童と教職員が一緒に学びます。
- ⑤ Q-U検査や相談の時間を利用して学級の人間関係の把握につとめ、児童の困り感に寄り添います。
- ⑥ 日常の全ての活動や「なかよし月間」などの取り組みを通して人権感覚の育成に努めます。
- ⑦ 教職員が楽しそうに何かに向かう「大人の自学タイム」や主体的に研修に参加する場を設けて、学び続ける教師を目指します。
- ⑧ 地域・保護者ボランティアを募集して、子どもの学びを見守ります。

**グランドデザインを視点に
児童アンケート・保護者・CS 運営委員会 等による
評価の実施**

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育活動	重点目標	「主体的な探究」	・フリースタイルプロジェクト、生活科、総合的な学習、交流活動を通して探究的な学習を進めてきたか
		「つなげよう」 ◎明るいあいさつと 認め合う学級づくり	・場に応じた挨拶が自分からできる児童を育てるためのとりくみをしてきたか ・交流活動や話し合い活動を充実させ、お互いを認め合う学級づくりをめざし、工夫してきたか ・子どもたちが楽しい学校生活をおくれるように、一人一人が自己有用感をもち、学び合える雰囲気学級の学級づくりを行ってきたか
		「かんがえよう」 ◎学び合い学習と学力向上	・「学力向上」に向けて、日々の授業を見返し、改善してきたか ・学力の向上をめざし、子どもたちが「わかった」「楽しい」を実感する授業を実施してきたか ・子ども達が夢中になって学べるように、学習課題を工夫してきたか
		「みつめよう」 ◎心みがき清掃の充実	・「自分自身と向き合い自分を成長させる時間」になるよう、ふりかえりの活動を大切に位置づけ、ノートを活用して取り組んできたか
	学習指導	主体的、対話的な学習 基礎的な学力の定着	・学び合いの学習について研修を深め、「主体的、対話的で深い学び」の学習を展開できたか ・「書く力」「読む力」の向上をめざし、授業改善に取り組んできたか ・「丸北小スタンダード」で学習規律を統一し、「つむぐ」の活用で家庭との連携を図ってきたか ・朝読書を通して、落ち着いた生活をスタートさせ、基礎力及び活用力の向上をめざしてきたか
	生徒指導	より良い人間関係づくり	・子どもたちが、安心して生活してできるように、学級の人間関係に敏感になり、子どもの心に寄り添った支援をしてきたか ・Ｑ－Ｕ検査や相談の時間を利用して学級の人間関係の把握につとめ、児童の困り感に寄り添ってきたか ・日常の全ての活動や「なかよし月間」などの取り組みを通して人権感覚の育成に努め、特別に配慮を要する児童についての研修を深めてきたか ・「北小っ子タイム」の充実を図り、自主・自律、学級づくり・人間関係づくりを大切に活動を支えてきたか
学校運営	地域との連携	学校からの情報発信	・学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で学校の様子を伝えてきたか
		安全安心対策	・学校は、毎日の下校指導や地域の安全見守り隊と連携して、事故防止や安全指導を進めてきたか
	研修	授業改善と児童理解	・教師は、学習指導や生徒指導等で研修したことを日常の授業に生かしてきたか
	相談支援	子どもや保護者への教育相談	・保護者や子どもからの相談に対して、関係職員や関連機関と連携しながら、適切な対応をしてきたか